

3/13

日本海新聞 ふるさと大賞受賞



日本海新聞ふるさと大賞2024、日南町の部の表彰式が開催され、地域貢献賞を「霞愉楽会」、スポーツ文化功労章を小竹颯人さん（福塚）が受賞しました。霞愉楽会は銭太鼓の伝承のため、大人から子どもまで、またモンゴル交流支援員のノミンさんも参加するなど、幅広いメンバーでの交流が評価されました。小竹さんは、鳥取県高校総体ではハンマー投げと円盤投げで2冠に輝き、中国総体、インターハイと駒を進め、その功績が評価されました。

3/3

オンライン診療 実証実験



遠隔地指定を受け巡回診療を実施している上萩山地区で、インターネット通信で病院と診療会場を繋ぎ診察を受けることができる「オンライン診療」の実証実験が行われました。この日は看護師が患者に立ち会い、画面の向こうの医師との診察をサポートしました。患者が痛みを訴える部位にカメラを移動させ、実証実験でありながらスムーズに診療を行いました。日南病院は今回の結果をもとに、今後の本格始動に向け検証を進めます。

3/25

中海テレビから Wi-Fi 贈呈



町内のケーブルテレビやインターネット等の普及をサポートいただいている中海テレビ放送が、開局35周年を迎える記念事業として、日南町へWi-Fiのアクセスポイントを寄贈していただきました。アクセスポイントは5月上旬に文化センターの芝生広場に設置され、屋外でのイベント中や、平常時でも快適にご利用いただけるようになります。

3/18

企業版ふるさと納税 日南病院へ



北海道旭川市の合板メーカー広葉樹合板㈱から企業版ふるさと納税として、立ったまま寝る仮眠ボックス「ジラフナップ」が日南病院へ寄贈されました。およそ350万円のジラフナップ内には、上体・お尻・すね・足の裏部分に支えがついており、負担の少ない姿勢で休むことができます。立ったまま仮眠することですっきりと目覚め、すぐに業務にあたることのできるそうです。ジラフナップを病院に導入するのは日南病院が全国初です。

